

本日の工程

2日目 (13日)

- 8:00 集合 / 感染対策をして朝食
- 9:00 - 13:30 フィールドワーク
- 13:30 集合 / 軽く報告
- 13:30 - 14:30 休憩 + 作業準備
- 14:30 - 17:00 作業

調査時間 4h 30m

調査距離 9.058 km

歩いた場所地図



谷戸から台地にかけて



①田畑の作物

畑にさまざまな作物が実っている。
畑と畑との間に作物ごと境界が生まれている。



②砂防林（低木）

畑の風下側に低木が植わっている道との境界。
風によって畑から土砂が飛び散るのを防ぐ。



③砂防林（高木）

家屋の風上側に植わっている道との境界
②の低木で防げなかった土砂を守る。



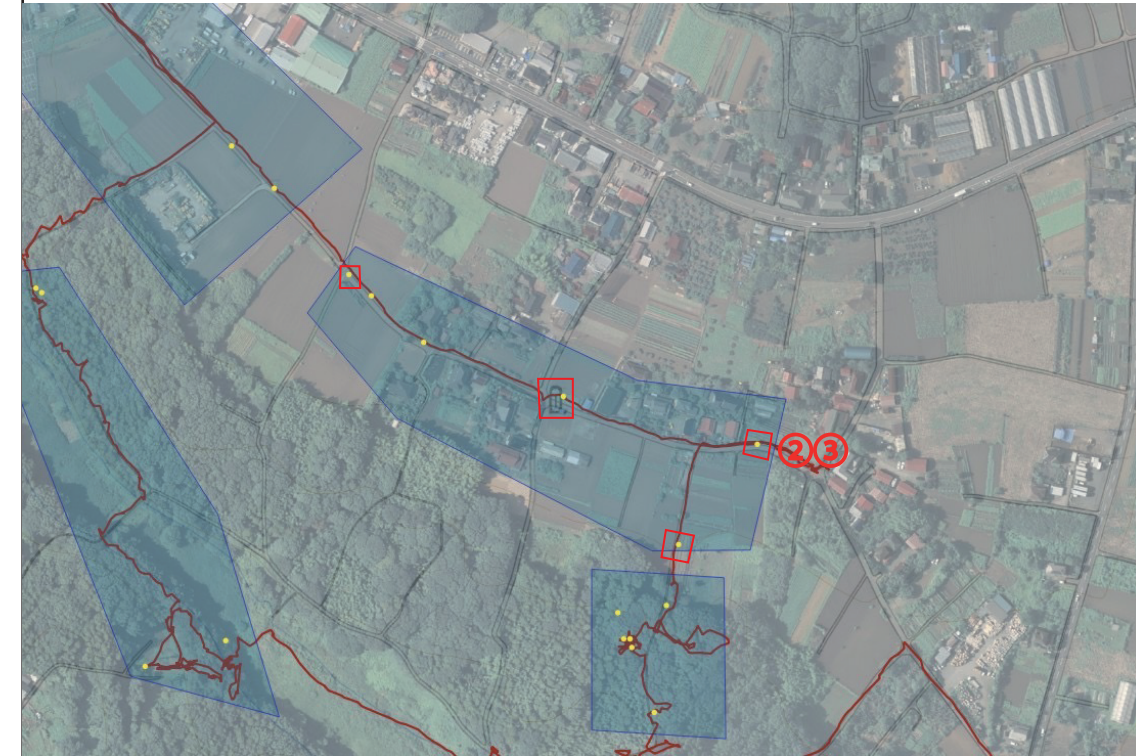
④神社

交差点にある神社。
神聖な雰囲気を持っており、道と神社との雰囲気分け隔てる境界となっている。



⑤地蔵

道と畑の間に立っている地蔵。
神聖な雰囲気を持つとともに、領域同士を隔てる、シンボルともなっている。



谷戸底



①等間隔の杉の山道

2m 間隔で杉が植樹されたと思われる山道。谷戸の雑木林に現れる境界。



②一本杉の別世界的境界

低木のなかに、モニュメントのように一本だけ突出する杉。別世界感を醸し出す。



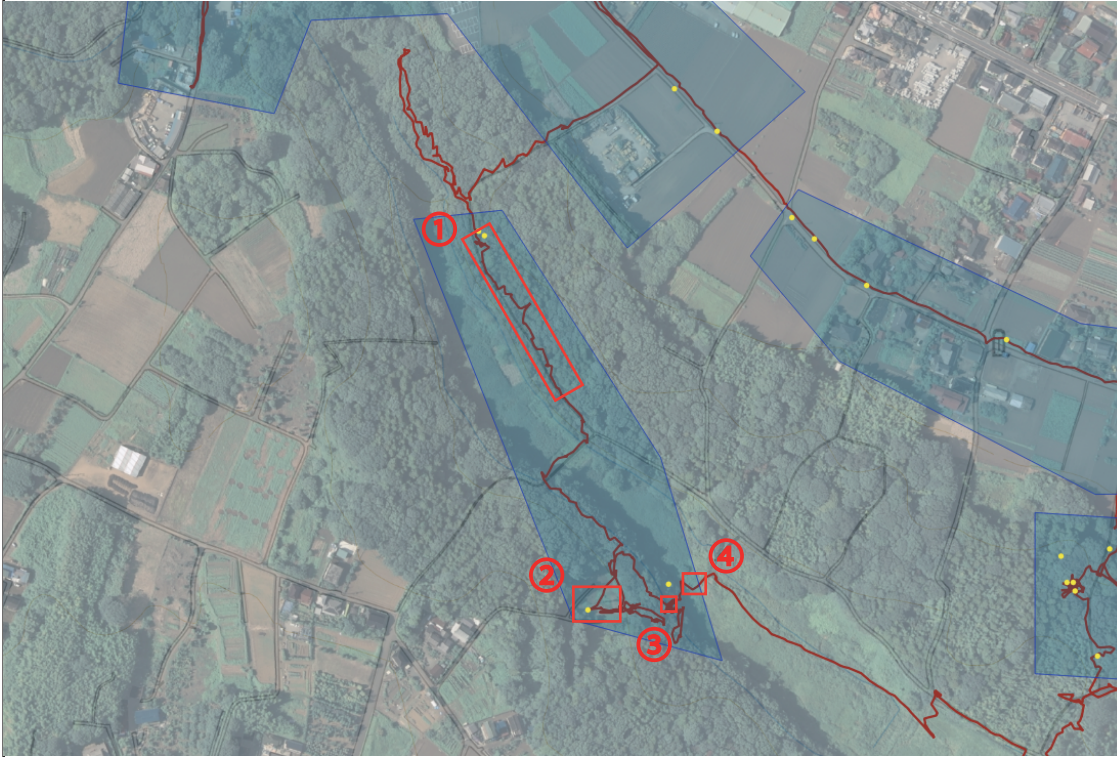
③沢の越境

雑木林と公園の境界となっている沢を飛び越え、越境。

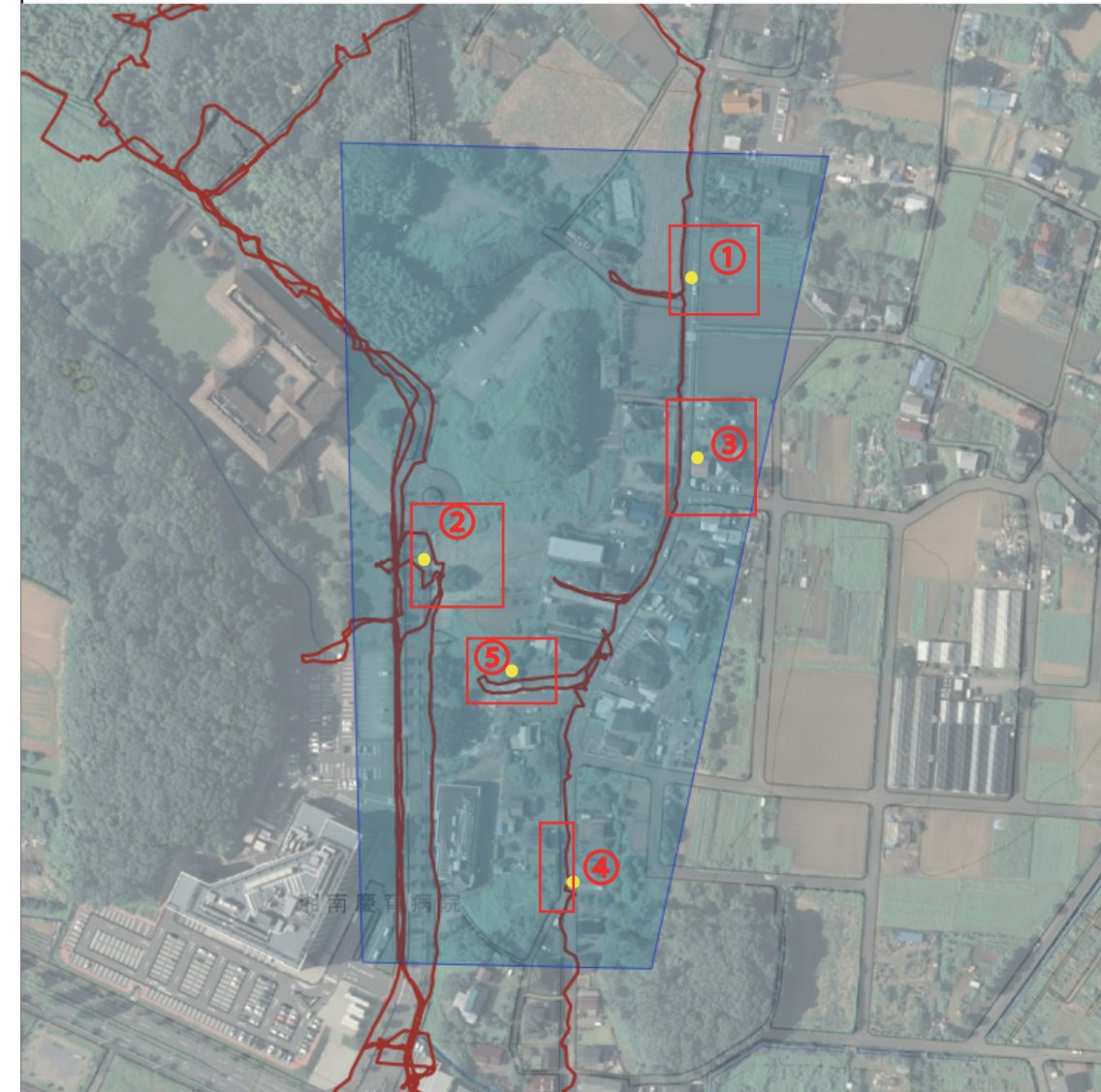


④見せかけの谷戸

公園は谷戸の中間部分までだが、谷戸端部のような演出がされる。



台地端部



①エキゾチックな雰囲気の世界
トウモロコシ畑と洋館
洋風な家屋とトウモロコシ畑が米国の
雰囲気を感させる



②視点が変わる境界
盛り土により等高差が生まれ視点の
変化が起こる境界



③動物の立ち入りを制限する境界
空き缶を使って音を鳴らすことで
動物の立ち入りを防ぐ境界



④人の立ち入りを制限する境界
工事現場用の柵を再利用し畑と道路の
柵とする
動物含めた人の立ち入りを防ぐ境界



⑤物干しと土塁の境界
工事現場用の柵を再利用し畑と道路の
柵とする
動物含めた人の立ち入りを防ぐ境界

谷戸上部



①境界としてのタイヤ

道路と農地の境界としてのタイヤ。
標高差による車の展望防止策として
設置されたと考えられる。



②時空の歪みとしての廃車

時間が巻き戻ったかのように
感じる。時空が歪む。



③動物の足跡

人間にとっては私有地である
畑だが、動物にとっては関係ない。
動物と人間の境界の認識の違い。



④境界に並んだ火山岩

境界に火山岩が並べられている。

不可視の境界

■風

- ・家を砂から守る高生垣
- ・畑からの砂の流出を防ぐ低生垣

■雰囲気

○聖域

- ・交差点の神社と地蔵
- ・谷戸内の墓地群

○別世界

- ・トウモロコシ畑と洋館
- ・一本杉と低木

○別時空

- ・廃屋と廃車

■擬態

○後天的擬態

- ・等間隔の杉による山道

○計画的擬態

- ・公園内の谷戸の演出

■動物の境界

- ・農作物の違い
- ・CD
- ・鳴る缶
- ・同レベルの畑（例外）

可視の境界

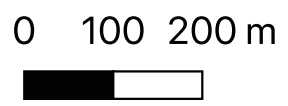
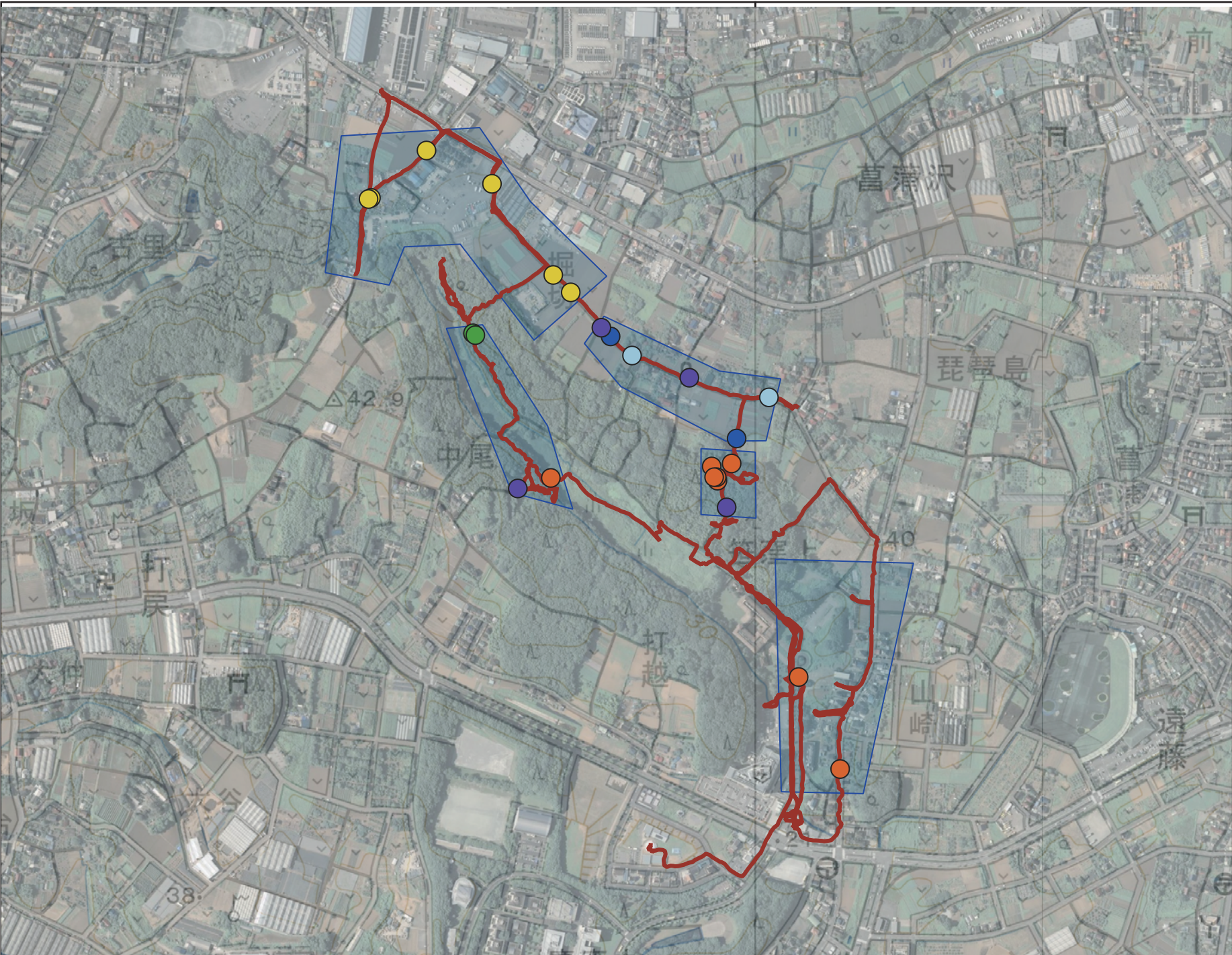
■傾斜と平面

- ・駐車場
- ・物干しと土塁
- ・炭焼き小屋周辺

■分割・領域

- ・台地と谷戸の境界の丸石
- ・畑と道路の境界の等間隔の低木
- ・畑と道路の境界の等間隔の電柱
- ・畑と道路の境界の等間隔のタイヤ
- ・畑と道路の境界の石垣
- ・竹林と山道の中の柵
- ・トウモロコシ畑と歩道の境界の工事用フェンス
- ・門中にされた切り株

- in1_風
- in2_雰囲気
- in3_擬態
- in4_動物
- vi1_傾斜と雰囲気
- vi2_分割領域
- 1113_jpeg



境界の超え方



生垣カーブミラー

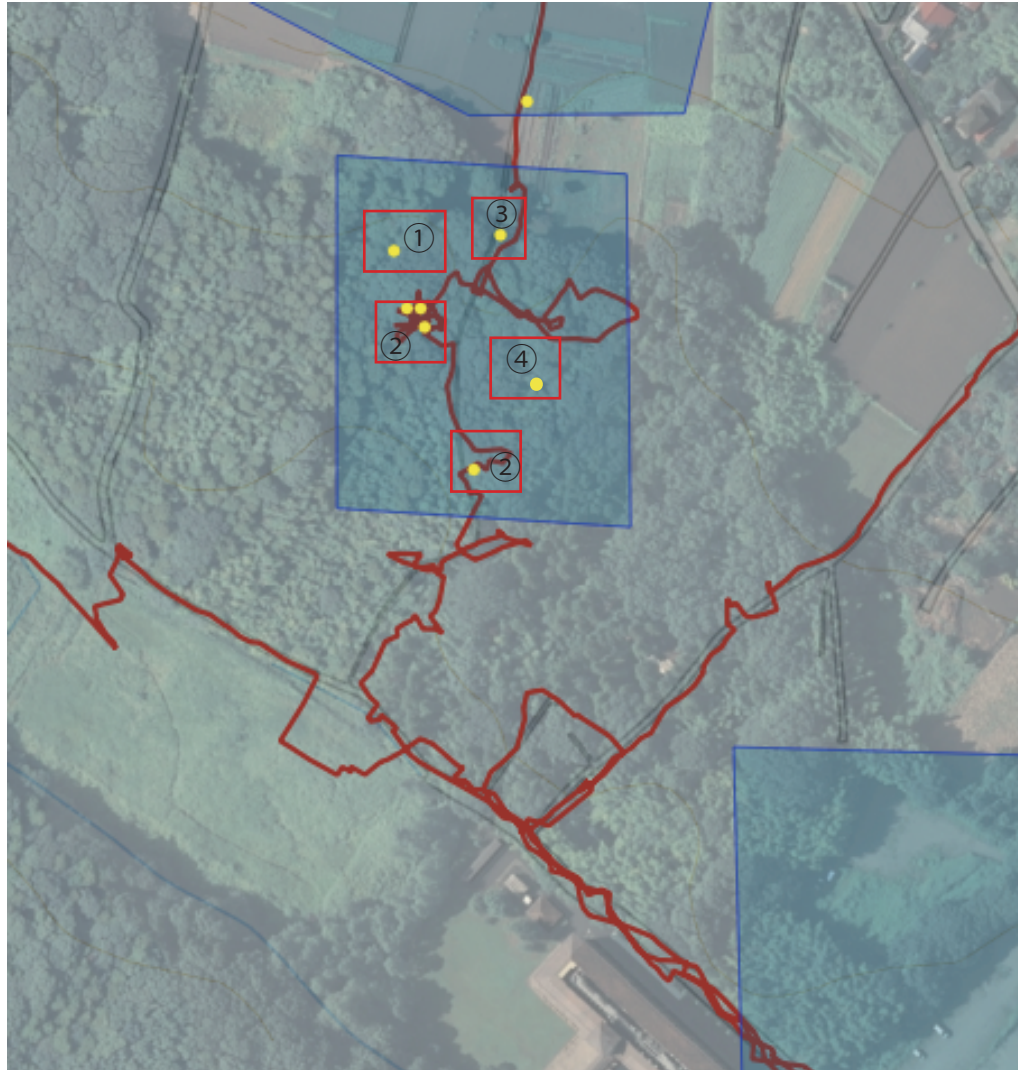


キャタピラアプローチ

越境のてだて



谷戸の竹林



①元炭焼き小屋の境界

炭焼き小屋があったと思われる地形は開けていて平坦である謎の空間になっている。陶器、歯ブラシなどが出土。



②竹林の墓地

竹藪の中に点々と現れる墓地は神聖な場所として私たちの目に映る。



③土留

異なる素材で作られた土留の境界。一方は竹で、もう一方は石・コンクリート・レンガ・鉄パイプだが、素材や時代は異なるが、文法は同じ。



④開けた空間

同じ空間だが、開いているだけで見方が変わり、境界を感じる。



⑤柵の境界

近辺から採れた草やたけ、端材などを使って人道の柵が作られている。樹木にロープをくくりつけた柵も。